

JAN

CONTENTS

広報誌発刊500号!…表紙～P3 営農だより…P4
 JAグリーン能美…P5 女性部だより…P6～7
 春一番展示会お礼…P7 金融部・共済部から…P8
 JA能美葬祭センター…P9 JA自己改革…P9～10
 JA通信…P11 JA能美のリクルート～事業説明会…P12



支えられて

500号

3

2019 MARCH
No.500



皆様に支えられて で創刊から500号を迎えました。

きまして、ありがとうございます。



すよう、よろしくお願い致します。



広報紙発刊 五〇〇号にあたって

能美農業協同組合

専務理事 和田 憲光



組合員の皆様、地域の皆様には、日頃からJA能美の事業と活動に温かいご理解を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

そして「農協だより」「みずまわり」「JAN」と変遷を重ねて参りましたJA能美の広報紙も四十四年の年月を重ねて、この三月号で発刊五〇〇号を数えるに至りましたが、これも偏に組合員の皆様、地域の皆様のお心に育てて頂き、見守って頂いた賜物に他ありません。

私自身も昭和五十五年四月号から昭和六十二年十二月号まで、広報紙の編集に携わらせて頂きました。

その間、本当に数多くの皆様の元へ取材に伺わせて頂き、そしてそこに、歯を食いしばって地域農業に取組まれる姿、地域の中で仲睦まじく暮らしておられるご夫婦やご家族の姿、地域の元気な子供たちの姿、等々沢山の勇気や幸せ、そして笑顔に出会わせて頂きました。

私の四十二年にわたる農協人生にとつて、その二つひとつが、今でも忘れられない大切な思い出となっています。また当時は、多くの皆様から折々の季節の時候や話題を寄稿頂いたことも、広報紙を支えて頂く大きな力ともなりました。

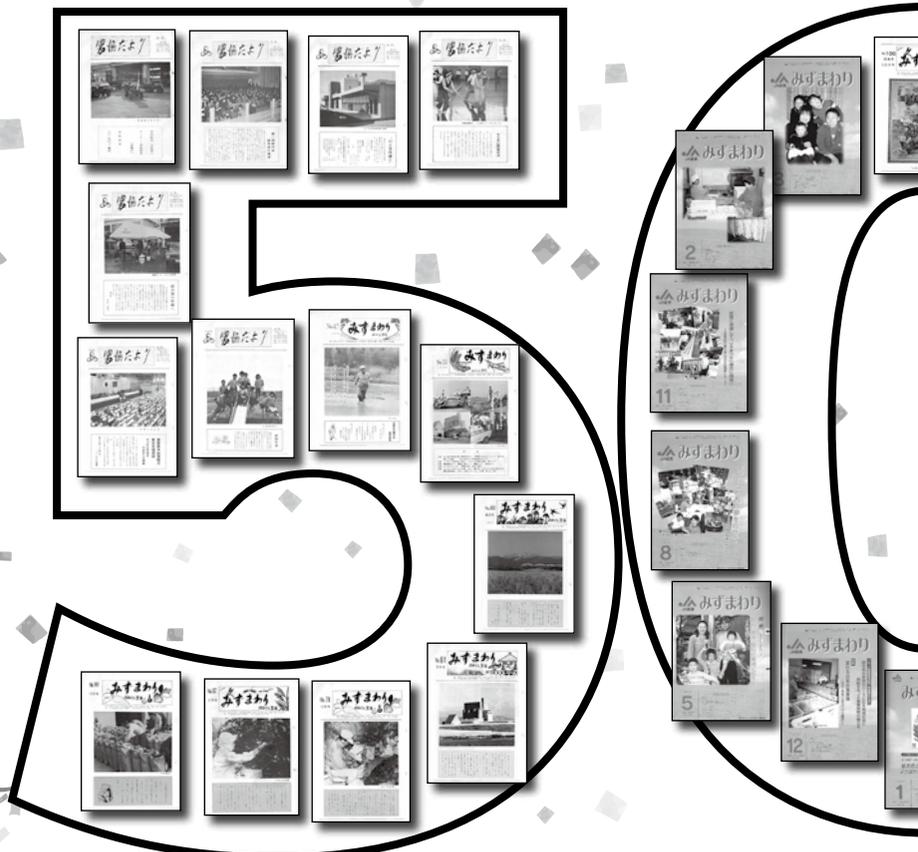
今回の発刊五〇〇号を契機に、益々皆様に寄り添える広報紙となりますよう努めて参りたいと思っております。

結びに、これまでJAの広報紙にお力添えを頂いた数多くの組合員・地域の皆様、礎を築いて頂いた職員OBの皆様にも、衷心より感謝を申し上げます。



JAN能美の広報誌が、平成31年3月号

長年、JA能美の広報誌をご愛読頂



これからも温かく見守って頂

— 広報誌のこれまで —

ちょっと紹介! JANができるまで

JANは各支店・部署に編集担当者が1名おり、総勢11名で編集・構成を行っています。

毎月編集会議を開催し、翌月号の構成内容、どんなイベントがあるかなど確認しています。そして、自身の所属する部署に関連しているイベント等ニュースをキャッチし、その担当者が取材から記事作成まで行い、本店の編集部署に記事を提出します。

本店編集部では細かな構成、文章の誤字脱字など複数人で確認する作業を行い、発刊するという流れになっています。記事の内容チェックと修正を繰り返して発刊するのですが、この作業がとても大変で、1週間程度の時間を費やしています。

チェックも完了し、無事に発刊となりましたら、組合員・地域の皆様のもとへ、職員が手配りしてお届けしています。



JAN能美広報誌の歴史を振り返りますと、最初は「農協だより」という名前の広報紙でスタートしました。農協だよりとして第46号まで発刊し、昭和54年5月号第47号の広報誌から、より親しみやすい名称にということで、「みずまわり」に変わりました。

みずまわりは①大地に密着している(土に立つ)、②田を均等に潤す(平等の原則)、③その良否は作物の発育を左右する(農業生産の向上)の3つの意味があるそうです。また「みずまわり」という広報誌名は地域の皆様からの公募によって命名しています。「みずまわり」は20年以上(319号まで)続き、皆様に愛される広報誌となりました。

そして2003年4月号(320号)から「JAN」に改称し、現在まで地域の皆様に愛読されています。

JANの名前の意味は…JAニュース・JA能美のニュースをお届けする「N」と能美の「N」を掛け合わせて「JAN」となりました。

組合員・地域の皆様に読みやすく、わかりやすい広報誌づくりを目指していきます。これからも、広報誌JANをお楽しみ頂けたらと思います。

「農事組合法人大地の輝」 創立総会



2月17日(日)橘公民館で、「農事組合法人大地の輝」の創立総会が開催されました。

この法人は橘地区の生産者14人が参加し、水田農業の維持と発展を基本方針に効率的な農業経営を目指すものです。

もともと任意組織で活動していた橘営農組合の水稲部門を独立させ、今般の創設に至りました。

総会で選任された西村憲人代表理事が「大地に根差した輝く農業を目指します」と力強く挨拶をされました。

JA能美管内には約20の集落営農が組織化されており、今後も関係機関とJAが連携しながら、各組織の法人化に向けた支援を行っていきます。

直播講習会

2月21日(木)にJA能美営農経済センターで水稲直播栽培講習会を開催し、生産者19名が参加しました。

南加賀農林総合事務所の植松技師を講師に迎え、平成30年産米の直播技術別の収量・品質の分析と結果、平成31年産に向けての課題と取り組み、カルパー直播や鉄コーティング直播の作業手順について、スライドを用いて説明をして頂きました。

その中で直播は、基本技術の徹底と適正な穂数の確保が重要なポイントであることが伝えられました。

参加者からは「とてもわかりやすい講習会でした。」との声が聞かれ、好評でした。

JA能美は、今後も直播の収量・品質向上、生産コスト低減を目指していきます。

大麦現地講習会

2月22日(金)にJA能美管内5か所で大麦の現地栽培講習会を開催し、多くの生産者に参加頂きました。

南加賀農林総合事務所の植松技師・小谷技師とJA能美の営農担当者(TAC)が、圃場の排水対策と越冬後追肥の施肥量・時期について、圃場の状況に応じて、きめ細やかな指導を行いました。

JA能美では、栽培する農作物の収量増による農業者の所得増大を目指し、今後も講習会を実施していきます。





種いも好評販売中!

3月に入り、三寒四温を繰り返し、春の装いに近づく中、畑の準備をされている方も見掛けるようになりました。

JAグリーン能美では、種じゃがいもおよび作付用の肥料・農薬等を豊富に取り揃えています。おなじみの男爵やメークインの他、キタアカリ、インカのひとみ等珍しい品種も取り扱っています。

また、長いもやJA能美特産加賀丸いもの種芋等も揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。

【臨時休業のご案内】

4月1日(月)は棚卸のため、臨時休業させていただきます。

能美の市生産者部会 視察研修会

2月12日(火)に、毎年恒例の視察研修会を実施し、会員32名が参加し、店舗職員4名が同行しました。

当日は天候にも恵まれ、富山県の直売所2店舗(南砺市の「ヨツテカーレ城端」と砺波市の「となみ野の郷」)を視察させて頂きました。

会員の皆さんは、売場に並んだ野菜や加工品等の売場を興味深く観察し、質問をする等積極的に参加していました。また、参加者同士の親睦を深めることもでき、有意義な視察研修となりました。



平成30年度 能美の市生産者部会総会

2月26日(火)、JA能美本店2階大会議室で総会を開催し、会員50名が出席しました。奥村源部会長が議長を務め、「平成30年度事業報告及び会計報告」と「平成31年度事業計画及び予算案」について審議した結果、両議案とも満場一致で承認されました。

閉会後は、松下種苗店の松下央氏より「直売所向け春まき品種のご紹介」と題してご講演頂きました。

スライドを用いたわかりやすい講演に、会員の皆さんも熱心に聞き入り、「春からの野菜作りに大いに参考になった」とご好評を頂きました。



◆ 親子「みそ造り」体験教室 ◆



説明をしっかりと聞きます



しっかりと混ぜるよ



クイズの時間



そお〜と入れるよ



団子づくり楽しい〜

2月9日(土)、JA能美みそ加工施設で管内の親子4組(お母さん4人、小2の児童4人)が地元産の米と大豆を使ったみそ造りに挑戦しました。

指導にあたったのは女性部員6人で、作業に入る前に、みそを仕込む工程やこの日作業する内容を、壁に貼り付けた教材を使って学びました。最初に取りかかったのは米麴を台の上でほぐす作業です。麴の甘い香りが漂う中、お母さん達は「いい香り〜」、反面「におい?よくわからん」と子供達。麴を初めて見る子供達にはまだピンと来ない様子でした。ほぐした米麴は塩と混ぜ合わせておき、次に大豆を圧力鍋で煮ている時間を使い「食農クイズ」に挑戦。子供達は積極的に答えてくれました。

大豆が煮上がるとうちわでパタパタと冷ましなが、煮上がった大豆をちょっと味見しました。煮豆はふっくらと柔らかく、お母さんも子供達も「おいし〜」と豆本来の味に感動していました。人肌の温度に冷ました大豆を、ミンチの機械にかけます。子供達は大豆を入れる係、機械から出てきた大豆をトレイに入れる係を交代しながら賑やかに作業していました。ミンチされた大豆は台の上で米麴と混ぜてこねます。そして空気を抜きながら大きな団子を作ったのですが、その作業が粘土遊びに似ていたのか、子供達はとても楽しそうに作っていました。最後にその団子をみそ樽の中へ両手で投げ入れるのですが、これまた楽しそうにやっていました。この日仕込んだみそは11月まで発酵、熟成させて、出来上がった頃に地元野菜を使った「みそ料理教室」を開く予定です。

みそ造りを
体験したい
親子を募集します!

(来年2月開催予定)

*ご希望の方は営農経済部 吉田まで

★★★ 女性部員の知恵袋 ★★★ 大豆はすごい!

みそ造りでも出てきた「煮豆」、これを冷凍保存しておく、とても便利です。



例えば、ハンバーグの具材に豆を潰して使うと嵩増しになります。女性部加工部会では惣菜のコロッケに入れてありますよ。潰さずそのまま五目豆などにも使うと時短になりますね。

大豆は「畑のお肉」と言われるだけあって、肉に匹敵する量のたんぱく質を含んでいます。さらに食物繊維も豊富で、蒸し大豆100gはレタス8個分に相当すると言います。一度に大量の豆を煮て冷まし、冷凍保存しておく、便利です。(圧力鍋で煮ると更に時短!) ぜひ試してみてください。

JAグリーン能美では地元産大豆を販売しています。大いに大豆を食べましょう!



フレッシュカレッジ



若い世代(20代~40代)の女性を対象に、暮らしに役立つ講習会や教室を開催しています。

レポート

2月20日(水)と23日(土)に営農経済センターで「水引とつまみ細工のコサージュ作り教室」が開催され、10名の方が参加しました。つまみ細工アーティストの森 麻由子さんとpaper-Mamの蔵本 由野さんに指導をお願いし、異素材コラボの素敵なコサージュ作りに挑戦しました。つまみ細工で花を、水引で葉っぱを作り、リボンやビーズも組み合わせてバンドでつけていきます。繊細な作業ですが、少人数ということもありフレンドリーでリラックスした雰囲気の中、楽しく出来たのであつという間の2時間半でした。

- これからもいろんな講習会やワークショップ(料理、手芸など)を開催していこうと思いますので、ご期待ください!!



女性部・緑の学園・フレッシュカレッジ・ボランティアグループ・家の光・みそ造りなど

お問合せは、お申込みは ☎0761-57-2288

(営農経済部 女性部事務局：吉田)までお電話ください。

家の光

わたしノート (エンディングノート)

セミナーを開催しました

レポート

2月13日(水)、JA能美が葬祭事業で提携している能美天祥閣を会場に、数年前からブームとなっている「終活」をテーマとしたセミナーを開催し、組合員の皆さんや女性部員17名が参加しました。

セミナーでは、家の光協会の北川 司氏を講師に招き、家の光1月号の付録「わたしノート」の活用法など学びました。

「わたしノート」は、『私』『渡し』を兼ねたエンディングノートのことで、B5サイズの薄いノートであることから、書き記すのにプレッシャーがないことが特徴でもあります。

講師の勧めで受講者は実際にノートにある「終活準備チェックリスト・チャート」に取り掛かりました。自分はどこから準備すれば良いのか、どこまで準備出来ているのか確認が出来、「自分のためにも、家族のためにも。」と、ノートの必要性を実感されたようです。

会場が能美天祥閣だったこともあり、セミナー後は精進料理の試食、今どきの葬祭事情を聞きながら館内の見学をするなど、普段では体験出来ない時間を過ごしました。



ご来場
ありがとうございました



春一番展示会



今年は昨年のお大雪と打って変わって2月上旬に春一番が吹き、早くも春の訪れとなりました。JA能美では2月16日(土)17日(日)の2日間にわたり「春一番展示会」を開催し、本店会場では農業機械、自動車、紳士婦人服、ジュエリー、電化製品等を、JAグリーン能美の店頭ではガス器具を展示・販売いたしました。

両日とも多くの方々にご来場頂き、誠にありがとうございました。心より感謝、お礼を申し上げます。



年金についての疑問点を解決!!

年金無料相談会

2月16日(土)に中央支店と川北支店、2月23日(土)に寺井支店と辰口支店で年金無料相談会を開催し、4支店合わせて32名の方にご来店頂きました。

相談会当日はJAバンクが提携する社会保険労務士の先生をお迎えし、それぞれが抱える年金に関する疑問や不安等についてお答え頂きました。

「いつから受給できるのか」、「どのくらい受け取れるのか」、「働きながら年金を受給するとどうなるのか」という年金の基本的な相談の他、「健康保険の加入」や「障害年金・遺族年金」について等、多種多様な相談がありました。

年金は職業や加入期間等各々違うため、年金について受給前に知っておくことはとても大切なことです。

JA能美では、年2回(7月、2月)の年金無料相談会の他、常時、年金アドバイザー資格(銀行業務検定協会)を持った職員が年金相談の対応をさせて頂いております。また、お客様相談センターでは年金相談をはじめ相続等様々な相談をいつでも承っておりますので、お気軽にご相談下さい。



お客様相談センター
担当：西
☎0761-57-3505

安心を
ひとつの
保険に

JA自転車倶楽部

をご存知ですか?

(日常生活個人賠償責任保障特約付帯交通事故傷害保険)

JA自転車倶楽部は日常生活における賠償責任と交通事故によるケガを補償する、JA組合員とご家族専用の傷害保険です。

ご自身がケガをした場合だけでなく、歩行者にケガをさせたり、他人の財産を壊して、高額な賠償金を請求された場合も補償の対象となります。



日常生活における賠償責任と交通事故等によるケガを補償する

JA自転車倶楽部がおススメです

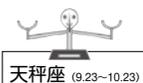
補償内容	「ごめんなさい」では すまないとき	交通事故等により、おケガをされたり、お亡くなりになったとき			
	日常生活 個人賠償責任保険金 (示談交渉サービス付)	ケガ(障害)			
保険金の 種類		死亡保険金	後遺障害保険金	入院保険金	手術保険金
被保険者 保険の補償を 受けられる方	被保険者ご本人 配偶者 その他ご親族	被保険者ご本人			
保険金額	1億円	500万円	後遺障害の程度に応じて 20~500万円	入院1日につき 5,000円	①入院中に受けた手術の場合 5万円 ②上記①以外の手術の場合 2.5万円

年間保険料
4,800円

年齢・性別による
加入制限なし

健康状態告知は
不要です

詳しくは最寄の支店へ
お問い合わせ下さい。



【全体運】 ますますの運氣。ただ、決断力が乏しくなるため、1人で考え込むより、周囲に相談を。音楽鑑賞もラッキー
【健康運】 スポーツの腕が上達しそう。楽しむと◎【幸運の食べ物】 オレンジ

組合員アンケートを装った 詐欺にご注意ください!



現在、全国のJAで実施しています。

「自己改革に関する組合員アンケート」を装い、

キャッシュカード・暗証番号をだまし取られ、現金が盗まれる事案
が発生しています。

組合員アンケートでは

- ①協力のお礼としてお金をお渡しすることはありません
- ②キャッシュカードをお預かりすることはありません
- ③キャッシュカードの暗証番号をお聞きすることはありません

もしもこのような場合には、詐欺の可能性があるので、

キャッシュカードは渡さない!
暗証番号は教えない!

ようお願いします。



提携業者
いしかわ葬祭、天祥閣

皆様の心に
寄り添う **【JA能美 葬祭センター】**

- 故人・遺族の想いを実現するには?
- 葬儀の準備には何が必要なの?
- 葬儀の費用って実際いくら必要なの?

不安を安心に、一つひとつお応えします。
事前相談も承っていますので、お気軽にご相談ください。

JA能美葬祭センター 専用電話 **0761-57-4004**
担当：北山・中口

**24時間
年中無休受付**

ふれあい倶楽部 会員募集中!!

**加入でさらに特典あり
ご加入は各支店まで**

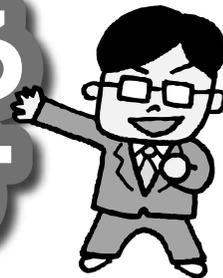
応募

しませんか?

JAグループ石川企画

JAグループ石川が自己改革クイズ!?

抽選で賞品が当たるクイズをしています



JAでは「農業者所得の増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の3本柱を目標に自己改革に取り組んでいます。組合員・地域の皆さんに、その取り組みについて知って頂きたい、JAグループ石川でクイズを実施することとなりました。

クイズに参加して頂くと抽選で100名様に「能登牛」・「能登豚」・「ひやくまん穀」が当たります。ぜひクイズに応募してみてください。

(1) 応募方法

① 応募用ハガキの記入

応募用ハガキに希望する賞品、クイズの答え、必要事項を記入し応募

② ハガキの発送

次のいずれかでJA石川県中央会宛送付

ア. 郵送(切手代は応募組合員負担)

イ. ハガキ裏面をFAX

ウ. ハガキ裏面を写真撮りし、Eメールで送付

(2) 応募期限

平成31年4月末までです。

(3) 当選者の決定

平成31年5月を予定しています。

(4) 当選者の通知

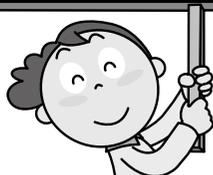
賞品の発送をもって通知に代えさせていただきます。

(5) 賞品の発送

当選者宅に宅配します。

(6) 応募用紙の備え置き店舗

- ① JAグリーン能美(直売所)
- ② JA能美営農経済センター
- ③ 各支店(中央支店・寺井支店・辰口支店・川北支店)
- ④ JA能美本店(金融部・共済部)



射手座 (11.23~12.21)

【全体運】 努力が認められるなど、うれしい出来事が期待できます。リーダー役に抜てきされやすいので意欲的に引き受けて
【健康運】 体力過信気味。疲労解消を怠らないこと 【幸運の食べ物】 サヨリ

山羊座 (12.22~1.19)

【全体運】 思うようにならないことが多くなる気配。特に家族など、身近な人たちから干渉されがち。感情的にならないで
【健康運】 健康食品に凝り過ぎ。ほどほどがベスト 【幸運の食べ物】 ヒジキ

4月の
主な行事

- 4月1日 定期人事異動 辞令交付式
- 新採職員 入組式
- 6日 平成32年度採用者 事業説明会

理事会だより

平成31年2月20日(水)開催の第10回定例理事会で次の事項が審議・報告され、審議案件は全件可決されました。

- 1、審議事項
- (1)定款第21条に基づく出資の減口承認について
 - (2)定款第18条に基づく組合員の脱退手続きについて
 - (3)第7次中期3カ年計画の策定について
 - (4)マネー・ローンディングおよび反社会的勢力等への対応に係る関係諸規程の改正等について
- 2、報告事項
- (1)平成31年1月末実績報告について
 - (2)平成31年3月次業務日程について

編集後記

「継続は力なり」「石の上にも三年」など継続を意味する言葉が多くあります。皆さんは、なぜ継続することが大切なのかを考えたことがありますか。

仕事や私生活の中で、やらなければいけないことや考える必要があることがとんとん多くなつていきます。そして自分の目標が変化していき、本来目指していた目標への努力意識が薄れているのではないかと思います。すると本心に自分の目指している目標が達成されないうちに、中途半端な状態になってしまうのではないのでしょうか。

世の中には「日々努力して、目標を達成できた人」と「日々努力しても、目標を達成できなかった人」がいます。前者が「継続は力になるから」と後者に伝えても、その言葉を言った人の結果で内容が判断されてしまい、継続が必ずしも力になっているとは考えられなくなる場面が多くあると思います。ただ、何かを得たいと思うのであれば、自分の中で絶対に譲れない目標があるのなら、諦めずに継続的に努力することが何よりも大切だと思えます。

成功者は「継続することが大切」ということではなく、「継続することが何かを成し遂げる上での必須条件」となっているというところを理解しているからこそ、目標を達成している、あるいは目標に向かって努力を続けられるのではないのでしょうか。



あなたの暮らしのそばに……

- 中央支店 (0761) 57-0036
- 寺井支店 (0761) 57-1141
- 辰口支店 (0761) 51-3115
- 川北支店 (076) 277-1288

(本店)

- ・監査室、経営企画部 (0761) 57-3505
- ・審査部 (0761) 57-3505
- ・金融部 (0761) 57-3505
- ・ローン営業センター (0761) 57-3505
- ・お客様相談センター (0761) 57-3505
- ・共済部 (0761) 57-3508
- ・営農経済部 (0761) 57-2655 / 57-2288
- ・JAグリーン (0761) 57-4831
- ・6次産業推進室 (0761) 57-2655
- ・農業機械課 (0761) 57-2654
- ・自動車課 (0761) 57-2653
- ・本店セルフ給油所 (0761) 57-4292
- ・辰口セルフ給油所 (0761) 51-4710
- ・川北給油所 (076) 277-1789
- ・LPガスセンター (0761) 51-5525
- ・加工センター (0761) 57-1140
- ・葬祭センター (0761) 57-4004
- ・配送センター (0761) 52-0531

お気軽にお電話下さい。

クロスワードパズル

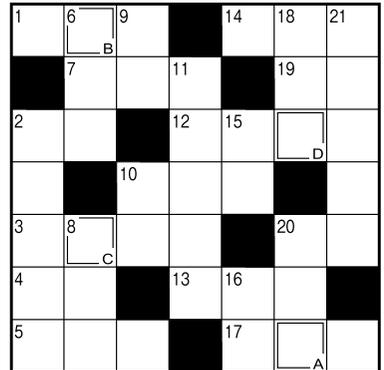
二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

★タテのカギ

- ②お酒にのまれている人
- ⑥先祖の冥福を祈り、追善——を行った
- ⑧眼鏡のフレームにはめます
- ⑨両手と両足のこと
- ⑩彼は質問に——なく答えた
- ⑪首の前部にある出っ張り
- ⑮牧場の周りによく立てられています
- ⑯踏むことでよく育つ穀物
- ⑳楽しいとすぐに過ぎてしまいます
- ㉑阿寒湖の物は特別天然記念物
- ㉒一角獣とも呼ばれる想像上の生き物

★ヨコのカギ

- ①春の山菜の一つ。スギナの胞子茎です
- ②和・——・中の料理が味わえるレストラン
- ③絵の具を混ぜ合わせるときに使う板
- ④開店祝いに胡蝶(こちょう)——を贈った
- ⑤水が湧き出てくる所
- ⑦奈良県の桜の名所
- ⑩あまり飾り気がありません
- ⑫北海道で生まれた馬や人をこう呼びます
- ⑬火のない所に——は立たぬ
- ⑭米寿は数え年88歳のお祝い、——は77歳のお祝い
- ⑰「!」は感嘆符、「?」は——符
- ⑲はさみを振りつつ横歩き
- ⑳一、十、百、千、——



先月の「クロスワード・パズル」の答えは『ホワイトデー』でした。(今回の応募総数は38通でした。)

当選者の発表は景品の発送を持って代えさせていただきます。

JA能美 事業説明会

開催日時：平成31年4月6日(土) 午前9時00分～11時00分

開催場所：JA能美 本店2階

内 容：JA能美の事業説明、先輩職員との意見交換会、
質疑応答など

参加をご希望の方は、下記のE-MAILアドレスまで、事前にお申込み下さい。

メールアドレス：**kanri@nomi.is-ja.jp**

職員採用に関するお問い合わせは経営企画部総務管理課 採用担当まで

Tel：0761-57-3505 E-MAIL：kanri@nomi.is-ja.jp 採用担当者：北村・石垣

能美農業協同組合



募集内容

【職種】：総合職

【応募資格】：短期大学・大学・大学院を平成30年3月以降に卒業された方、
並びに平成32年3月卒業見込みの方(元号変更前標記)

【募集人数】：若干名

応募締切・採用試験日程について詳細が決まり次第
HP・マイナビサイト内・広報紙JAN4月号でお知らせいたします。

来たれ若者!JA能美のリクルート